

科目名		コミュニケーション実践 I			
担当教員			実務授業の有無		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。 コミュニケーション検定初級合格を目指すために、対策授業を行い、合格点に達しない者は補講を行う。				
学習目標 (到達目標)	周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。 コミュニケーション検定初級合格ができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	株式会社サーティファイ コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く		P2-9		
2	傾聴・質問する		P10-14		
3	目的を意識する、話を組み立てる		P15-22		
4	言葉を選び抜く		P23-29		
5	表現・伝達する		P30		
6	来客対応		P36-39		
7	電話対応		P40-43		
8	アポイントメント・訪問・挨拶		P44-48		
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション		P49-59		
10	接客・営業、クレーム対応		P60-71		
11	会議・取材・ヒアリング、面接		P72-82		
12	模擬問題		P84-99		
13	過去問題①		P100-115		
14	過去問題②		P116-131		
15	過去問題③		P132-148		
16	コミュニケーション検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			コミュニケーション検定合格のために、毎回授業に出席する。		
実務経験教員の経歴					

科目名		ビジネスマナー			
担当教員	倉田 純子	実務授業の有無	×		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。 また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。				
学習目標 (到達目標)	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット 実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会 社会人常識マナー検定試験				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	仕事に取り組む心構え	P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック			
2	報告・連絡・相談、会社の組織	P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング			
3	基本動作、言葉の遣い方	P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック			
4	受付の仕方、名刺の渡し方	P32-40 受付ロールプレイング			
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方	P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング			
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備	P49-56 お茶出しロールプレイング			
7	電話の受け方、伝言メモ	P55-69			
8	電話のかけ方	P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング			
9	慶事業務	プリント			
10	弔辞業務、お見舞い	プリント			
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い	プリント			
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方	プリント iPad(スマホ)でメール作成送信添削			
13	社外文書作成の仕方	プリント PC(iPad)で社外文書作成提出添削			
14	お礼状の作成の仕方	プリント 直筆でお礼状作成提出添削			
15	期末試験				
16	期末試験、解答・解説				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に対応できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。			
実務経験教員の経歴					

しつけトレーニング実習						
科目名	しつけトレーニング実習					
担当教員	金子 真弓		実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科		対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64時間	
授業概要、目的、授業の進め方	1.犬のトレーニング実技を行う。 2.実際の道具やデモンストレーションを見る。 3.テキストやホワイトボードを使用し内容を説明。					
学習目標 (到達目標)	正の強化と負の強化を使ったトレーニング方法を理解し、実行できるようになる 犬と関わる上での必要な事や必要な物を理解する					
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬の問題はこうして直す「THE Tool Box」					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考				
1	・犬の観察しつけとは？、問題行動とは？飼い主にとって好ましくない行動⇒好ましい行動として肯定文として説明					
2	・リーダー、アルファとは？上下関係、主従関係×、ハビの結核について、所有欲について、「おもちゃで遊ぶことについて」リードの持ち方、近くでリード、近くを歩く、回す	テキスト使用				
3	・飼い主の手を良いものに学習させる。・「ピーナツバター療法」でケア時に条件付け、マズルコントロール、アルファロール×トレーニング⇒回す、オスワリ、フセ(誘導で)	テキスト使用				
4	・ケージ/クレートに預けて(何故ケージが必要か?) ・オスワリ、フセ、夕方をそれぞれの姿勢から誘導 ・オスワリやフセ、オスワリやフセ、フセやフセ	実際の道具を見せる、トレーニングの方法をデモンストレーション				
5	・犬を家族として迎える前に準備するモノは？ ・名前を教える、アイコンタクト、近くを歩く	実際の道具を一部見せる				
6	・犬を家族として迎える前に準備しておきたいことについて ・どんな犬？成犬or子犬orオスorメス、犬種など ・実習:コングを作る(中に食べ物を詰める)、回す、横につける、アテンションなど					
7	・ストレスについて 3つの「F」、カーミングシグナルについて ・実習:立ち方について(バランス良く立つ、犬側の前に立ち犬側を向くこと)	テキスト使用				
8	・犬の行動問題について:原因は？犬種の特性、身体の不快、先天的な要因、社会化不足などについて ・実習:Tタッチ、立ち位置(犬の肩の辺りに立ち、犬側を少し向く)、リードの持ち方					
9	・学習理論:報酬はランダムにしておく、誘導から合図をつける⇒ハンドシグナル ・回す、オスワリやフセをハンドシグナル、マッチ					
10	・トイレットトレーニングについて ・ハンドシグナルでオスワリ、フセ、回す、マッチ、Tタッチ	DVD鑑賞				
11	・合図を教えるトレーニングについて					
12	・嫌悪刺激を使ったトレーニングの仕組み(モチベーションを使った方法) ・古典的アイコンタクト、左右にご褒美を持った手を移動させてトレーニング					
13	・セルダウン:飼い主の足元で大人しく落ち着く(フセの状態)、マグネットトレーニング:誘導とは異なり、全てのトレーニングの幹	足元でフセのトレーニングのデモンストレーション				
14	・ポディランゲージ、カーミングシグナルについて ・呼び戻し、近くを歩く(人がボール役になり、8の字で歩く)	DVD鑑賞				
15	・古典的条件付け(拒否条件付け、逆条件付け)、正の罰について罰とは？嫌悪刺激 ・古典的条件付けでフランチ、手、ハンドタオルで触る刺激に慣らす					
16	・散歩の引っ張りについて(ジェントルリーダー、ハルティ、イージーウォークハーネスについて)	実際の道具を見せてデモンストレーション				
17	・シェーピングについて(人だけでクリッカーの練習)	トランプを使用して、人同士で練習				
18	・動画鑑賞:ハビークラス、フリススタイルなど ・実習:クlickカートトレーニング、犬がイスの上に前足を乗せる、イスの下に頭を入れる	モニターより動画鑑賞(実際の教室の様子など)				
19	・Tool Box:健康、環境を豊かにする、リーダーシップ、管理、妥協、原因を取り除く、系統的脱感作、ご褒美を取り除く ・ハンドシグナルのトレーニング(オスワリ、フセ、回す)	テキスト使用				
20	・Tool Box: 固執しない行動にご褒美を与える、慣らす、関連付けの応用、嫌悪刺激、Tool Boxを使って、問題を解決を考える(8組に分かれて)、実習:呼び戻し	テキスト使用				
21	・シェーピング(クlickカートトレーニング) ・人同士でクlickカートトレーニング:クlickカー配布					
22	・シェーピング②(クlickカートトレーニング、基準が大きい場合は細かく分ける) ・人同士でクlickカートトレーニング、犬でのシェーピングデモ:イスの下に頭を入れる					
23	・シェーピング③(クlickカートトレーニング) ・人同士でクlickカートトレーニング、犬にクlickカーでトレーニング					
24	・シェーピング④(クlickカートトレーニング) ・人同士でクlickカートトレーニング、犬にクlickカーでトレーニング(オスワリ、フセでクlickする)					
25	・シェーピング⑤(クlickカートトレーニング) ・人同士でクlickカートトレーニング、犬のクlickカーでトレーニング(イスの下に頭を入れる)					
26	・シェーピング⑥(クlickカートトレーニング) ・人同士でクlickカートトレーニング、犬のクlickカーでトレーニング(イスの下に頭を入れる練習)					
27	・犬の本能:食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い(痛い)犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ・行動に合図を付ける					
28	・犬の本能:食物獲得、危険回避、繁殖⇒トレーニングで食物獲得を利用、食べ方が強い(痛い)犬のトレーニング、おもちゃ遊びデモ・行動に合図を付ける					
29	・古典的条件付け、拒否条件付け、脱感作について					
30	・オペラント条件付けについて					
31	・呼び戻しについて					
32	・トリックをランダムにしてルアーを無くすトレーニングについて					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意				
レポート提出100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		しつけインストラクターとして25年活動				

科目名		コンピュータ実習 I			
担当教員	古俣 秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	日本語文章入力のある程度の速さで、正確に行えるようにする Wordの理解を深め、活用できる基本技能を身につける				
学習目標 (到達目標)	Word文書処理技能認定試験 3級 取得				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Word2016 クイックマスター 基本編 Word文書処理技能認定試験 3級問題集				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Wordの基本	授業の目的の理解 Windows基本操作、基本知識の重要性			
2	Chapter2 文字の入力と編集の基本操作 Chapter3 文書の編集	日本語入力の基本操作の確認 正確な入力の重要性、コピー・移動の状況に応じた方法			
3	Chapter3 文書の編集	Wordにおける段落書式の重要性			
4	Chapter3 文書の編集 Chapter4 文書の印刷	C2～3で学習した内容を該当設問で確認			
5	Chapter5 文書の作成	タブ機能の重要性の理解、タブ設定とタブ挿入の理解 ルーラーの重要性の確認			
6	Chapter6 表を使った文書の作成	表作成・編集の基本の理解、操作に応じたりボンの確認 C4～6で学習した内容を該当設問で確認			
7	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成	オブジェクト作成・編集操作の基本の理解			
8	練習問題1	QMで学習した機能を確認しながら設問解答 実用目的の成果物として完成させる			
9	練習問題2～	「作成」ファイルと「編集」ファイルの保存の必要性、名前を付けて保存と上書き保存の理解の重要性			
10	練習問題	完成確認後、各自で次の練習問題に進む 練習問題2「編集」の確認と疑問点などの確認・回答			
11	練習問題	"			
12	模擬問題	"			
13	模擬問題	"			
14	試験実施プログラム 模擬問題	プログラム操作方法・試験の流れの確認 画面配置に慣れる。解答ファイル採点			
15	試験実施プログラム サンプル問題	前問題振り返り 時間計測して実施 解答ファイル採点			
16	検定				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、文書作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。			
実務経験教員の経歴	一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた				

科目名 動物飼育実習 I					
担当教員	佐藤 大輝、佐藤 緑、佐山 恭子			実務授業の有無	○
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	92
授業概要、目的、授業の進め方	実習前座学:実習前に必要な知識を伝え、なぜ行うのか理由から方法を覚えられるようにする 実習:座学で得た知識を実践する。到達目標を細かく刻み、自信を持ってもらう。 掃除においてはインターンシップと基本となる項目。 動物を触るだけが、仕事ではないため、率先して動ける人材へ。				
学習目標(到達目標)	個体別の生活様式から正常と異常を見極め、適正な動物飼育を身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	アレルギー調査、実習スタイルについて、飼育室の出入り方法			教員が見本となる、実習室への見学	
2	消毒や手洗いの実施について、犬について(PD、テキスト)			理由を明確に伝え納得させる、犬の触れ合い	
3	猫について(PD、テキスト)、管理帳の記入の仕方について			管理帳見本を配布し記入させる、猫の触れ合い	
4	小動物(ウサギ、モルモット、ハムスター)について			自作プリントを配布、小動物の触れ合い	
5	飼育室の見学(物の配置確認)、掃除の仕方、洗濯方法			先輩に指導を受ける、メモをとる	
6	病気の予防や診察について、日誌の書き方			日誌を実際に書いてもらう	
7	実習前の総確認、小テスト			実習に必要な技術を見直す	
8	フィードバック			覚え直し	
9	(実習)犬の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ	
10	(実習)猫の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(猫)への接触方法、管理方法を学ぶ	
11	(実習)ウサギの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(ウサギ)への接触方法、管理方法を学ぶ	
12	(実習)モルモットの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(モルモット)への接触方法、管理方法を学ぶ	
13	(実習)ハムスターの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(ハムスター)への接触方法、管理方法を学ぶ	
14	(実習)犬の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ	
15	期末試験(筆記)			正しい知識を覚えているか	
16	フィードバック			間違えたままにせず、確認を行う	
17	(実習)犬の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ	
18	(実習)猫の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(猫)への接触方法、管理方法を学ぶ	
19	(実習)ウサギの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(ウサギ)への接触方法、管理方法を学ぶ	
20	(実習)モルモットの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(モルモット)への接触方法、管理方法を学ぶ	
21	(実習)ハムスターの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(ハムスター)への接触方法、管理方法を学ぶ	
22	(実習)犬の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ	
23	(実習)猫の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(猫)への接触方法、管理方法を学ぶ	
24	(実習)ウサギの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(ウサギ)への接触方法、管理方法を学ぶ	
25	(実習)モルモットの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(モルモット)への接触方法、管理方法を学ぶ	
26	(実習)ハムスターの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(ハムスター)への接触方法、管理方法を学ぶ	
27	(実習)犬の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(犬)への接触方法、管理方法を学ぶ	
28	(実習)猫の管理、お世話、食事について			WaNファミリー(猫)への接触方法、管理方法を学ぶ	
29	(実習)ウサギの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(ウサギ)への接触方法、管理方法を学ぶ	
30	(実習)モルモットの管理、お世話、食事について			WaNファミリー(モルモット)への接触方法、管理方法を学ぶ	
31	期末試験(筆記)			正しい知識を覚えているか	
32	フィードバック			間違えたままにせず、確認を行う	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			飼育経験のない動物もいることから、接触方法や飼育管理方法の違いについて習得し、実践する。苦手意識が出ないよう、わからないことをそのままにせず先輩や先生に質問し、自信をつけていく。		
実務経験教員の経歴					

科目名		エキゾチックアニマルⅠ			
担当教員	広川美紀	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	現在飼育されている動物は、犬猫だけではないため、生体の特徴、飼育方法を理解する。販売に携わる際には、飼育方法をアドバイスできるようになる。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格。飼い主に飼育アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	愛玩テキスト2巻				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ウサギ 飼養管理				
2	ハムスター 飼養管理				
3	モルモット 飼養管理				
4	フェレット 飼養管理				
5	チンチラ 飼養管理				
6	犬猫分類、歴史				
7	犬、猫の特徴				
8	犬猫と暮らす、環境				
9	犬猫のライフサイクル①				
10	犬猫のライフサイクル②				
11	犬猫の社会化				
12	しつけについて				
13	犬猫の毎日の生活 食事				
14	犬猫の発情、健康管理				
15	テスト+(解説)				
16	解説				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー 10年、独立サロン経営 18年				

科目名						ビジネス経営基礎					
担当教員		江口 亜由美				実務授業の有無		○			
対象学科		ペットケア・ビジネス学科		対象学年		1		開講時期		通年	
必修・選択		必修		単位数		2		時間数		64	
授業概要、目的、授業の進め方		前期:実習までに基本的なことを学ぶ。声だしや挨拶など現場で必須のスキルを身に付ける。 後期:学園祭までに主力商品のPOPをつくらう！POP作成のテクニックを学ぶ。経営の基礎を覚える。									
学習目標(到達目標)		ペットショップに必要な知識と技術が習得できるようになる。									
テキスト・教材・参考図書・その他資料		プリント配布									
回数	授業項目、内容					学習方法・準備学習・備考					
1	自己紹介シートを利用しながら発表形式で声だしをする。ペット業界の現在と目的を知る。										
2	店舗のオペレーション(売り上げとは何か、接客とは何かを学ぶ・1日の流れを知る)										
3	店舗のオペレーション(1日の流れやどんなお客様がくるのかを知る)										
4	店舗のオペレーション(商品の発注や管理などを学ぶ・販売個数が多い物や少ないものがある)										
5	ペットショップの売り場(売り場の構成を知る)										
6	ペットショップの売り場(お店の主力商品を知る)										
7	ペットショップの販売と仕事の流れ(商品の発注や管理などを学ぶ)										
8	ペットショップの販売と仕事の流れ(商品の仕入れ)										
9	商品陳列(実践) 陳列に必要なことを覚える(タグ・順序など)										
10	商品陳列(実践) 陳列に必要なことを覚える(タグ・順序など)										
11	商品陳列(実践) 陳列に必要なことを覚える(タグ・順序など)										
12	ホテルについて(ホテルにはどういったコースがあるか、リスキマネジメントを知る)										
13	試験範囲										
14	試験日										
15	試験振り返り										
16	商品POPは何か、作成時のコツを学ぶ										
17	商品POP(作成してみよう)										
18	商品POP(作成してみよう)										
19	販売実習(商品)お気に入りの商品で販売のロープレをしてみよう!										
20	ペットショップでの生体管理犬について										
21	ペットショップでの生体管理犬について										
22	ペットショップでの生体管理猫について										
23	ペットショップでの生体管理猫について										
24	生体販売のアフターケアについて										
25	販売実習(生体)人形を使用し生体販売のロープレをする。										
26	接客(インターンシップに向けて)										
27	ペットとの同行避難										
28	デンタルケアの重要性										
29	店舗見学										
30	試験範囲										
31	試験日										
32	試験振り返り										
評価方法・成績評価基準					履修上の注意						
試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
実務経験教員の経歴					株式会社ミリオンペット代表						

科目名		解剖・生理学			
担当教員	山下 静香		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物の体の基本構造やはたらきをまず理解した上で、各組織での検査や代表的な疾患を把握する				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●動物の体のしくみやはたらきを理解することができる ●各組織における検査の種類や手技、代表的な疾患を把握し、ケアすることができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	緑書房 ビジュアルで学ぶ 動物看護学[第2版]、緑書房 ビジュアルで学ぶ 伴侶動物解剖生理学				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業概要、体の基本構造について	伴侶動物解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
2	外皮系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
3	運動器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
4	神経系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
5	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
6	感覚器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
7	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
8	循環器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
9	呼吸器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
10	上部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
11	下部消化器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
12	泌尿器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
13	内分泌系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
14	生殖器系 しくみとはたらき、主な検査、代表的な疾患、ケア	動物看護学[第2版]、解剖生理学のテキスト 配布プリントにて書き込み			
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		動物病院での実習や勤務を想定し、動物の体の基本構造から検査や疾病、看護師としての仕事も併せて履修する。 解剖生理学は難しい分野とらわれがちなので、現場での経験などを踏まえながら、より身近に感じられるように意識する。			
実務経験教員の経歴	動物看護師として約4年勤務				

科目名		AAA総論			
担当教員	山下 静香		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	AAA、AATについて理解をすることを目的に、訪問活動に必要な様々な技術を実践形式で行い、日々の生活でも活用できるよう身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●訪問活動に必要なコミュニケーション技術を身に付けることができる ●訪問活動に必要なハンドリングを理解し、実行することができる 				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	[参考] 緑書房 動物看護の教科書 第1巻、教員作成資料				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	授業概要の説明、好きな動物・嫌いな動物	配布プリントにて書き込み			
2	AAA,AATとは	配布プリントにて書き込み			
3	AAA実習の流れ、活動VTR	配布プリントにて書き込み、実際の活動の様子を動画鑑賞			
4	他己紹介インタビュータイム、他己紹介発表	ランダムにペアを決め、お互いを紹介し合う			
5	水平思考とは	配布プリントにてゲーム形式で実践			
6	犬の観察	犬を部屋内でフリーにして細かい動きを観察シートに記入※観察シートにて成績評価			
7	犬の抱き寄せ	犬の正しい抱き寄せ方を見本、その後実践			
8	リードの持ち方,扱い方、クレートの扱い方	様々な様式を正しく扱えるように実践			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
犬の観察にて行う観察シートとその感想をまとめたレポートで成績評価をつける。		AAA/AAT/AAEそれぞれの区別をまずは理解させるため、実際の動画を用いて視覚的にも正しい理解を深める必要がある。また、動物の扱いも初めての学生が多いため、見本を見せてから行う。ただ、動物へ負荷がかかりすぎないように注視する。			
実務経験教員の経歴		動物看護師として訪問活動に参加経験あり			

科目名 人と動物の関係学					
担当教員	山崎 恵子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	現在、国際的に動物愛護がどのように進んでいるのか？日本の現状は？今後取り組んでいく課題は何か？を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	日本や世界の動物業界の現状や動物福祉のあり方について理解することができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物の代弁者になることについて				
2	真の動物愛護とは				
3	ブリーディングの問題				
4	飼い主の責任				
5	動物の死とベトロス				
6	シェルターワーク				
7	動物虐待				
8	災害時の動物				
9	犬のデイケア				
10	犬猫の行動学				
11	Tタッチ理論				
12	Tタッチ実践		特別講義		
13	動物愛護教育				
14	動物保護活動				
15	期末試験				
16	エコ・ツーリズム				
17	動物愛護法				
18	アニマル・エシックス(実験動物・産業動物)				
19	アニマル・エシックス(展示動物)				
20	アニマル・エシックス(補助犬)				
21	安楽死とベトロス		特別講義		
22	動物愛護法と動物の福祉		特別講義		
23	期末試験				
24	動物との共生				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全ての授業に出席し、かつ毎回のテーマごとにレポートを提出すること。		
実務経験教員の経歴			一般社団法人アニマル・リテラシー総研		

科目名		AAA実習			
担当教員	青木 和孝	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物が人間社会で果たしている役割やその背景・歴史について学び、人と動物の関係と心理学的および社会的側面から理解する。 また、動物介在活動を安全に実施するにあたり必要な配慮やリスク管理を理解する。				
学習目標 (到達目標)	人と動物の調和に関わることを学ぶことができる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	職員作成パワポ資料				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	人と動物の関係の歴史	パワポ資料			
2	人と動物の関係のなりたち	パワポ資料			
3	人と動物の絆について	パワポ資料			
4	動物が人に及ぼす影響について	パワポ資料			
5	動物介在活動、動物介在療法、動物介在教育の定義	パワポ資料			
6	動物介在療法の事例紹介	パワポ資料			
7	動物介在活動の事例紹介	パワポ資料			
8	動物介在教育の事例紹介	パワポ資料			
9	参加動物の選別基準	パワポ資料			
10	参加動物に適した育成方法の選択	パワポ資料			
11	さまざまな人と動物の関係	パワポ資料			
12	AAIIにおける人獣共通感染症のリスク	パワポ資料			
13	ストレスの把握とストレス管理	パワポ資料			
14	訪問活動に向けて	パワポ資料			
15	期末試験				
16	期末試験の振り返り				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		科学的なエビデンスに基づいた人と動物の相互関係の理解。動物福祉を考慮した参加動物の選別とトレーニング法の選択を理解する。			
実務経験教員の経歴		動物看護師として動物病院で現在も勤務中			

科目名		動物関係法規			
担当教員	竹石 拓矢	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	動物取扱現場及び、公衆衛生、環境関連の動物関連の法規について理解を深め、動物福祉と安全な社会づくりに貢献する専門職として順守の精神を養う。愛玩動物飼養管理士2級合格へ向けて、検定出題範囲の関連法について理解を深める。				
学習目標 (到達目標)	愛玩動物飼養管理士2級合格 動物に関連する法規範と倫理を理解することで、動物取扱業者における業務を円滑に行えるようになる。 法規範に基づく疾病予防等の飼い主義務について飼い主への助言が出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	パワーポイント、レジュメ 愛玩動物飼養管理士2級第1巻				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	法規範とは何か、法規の概念を理解する	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
2	日本における法令の種類(法律、政令、省令・府令、条約、条例)	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
3	動物愛護法①	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
4	動物愛護法②	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
5	動物愛護法③	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
6	愛護法振り返りテスト	動物愛護法について中間のミニテストの実施			
7	動物愛護法④	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
8	動物愛護法⑤	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
9	動物愛護法⑥	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
10	愛護法振り返りテスト②	動物愛護法について振り返りテストの実施			
11	狂犬病予防法①	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
12	狂犬病予防法②	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
13	身体障害者補助犬法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
14	ペットフード安全法	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
15	鳥獣保護法、ワシントン条約、ラムサール条約	パワーポイントの投影、レジュメの書き込み			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		本科目は愛玩動物飼養管理士2級合格に必要な法規範の知識を習得する。授業で配布する資料についても熟読が必要。			
実務経験教員の経歴		ドッグトレーナーとして約1年間トリミングサロンにて勤務			

科目名 動物栄養学					
担当教員	川口 和清		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	動物の健康維持に必要な栄養素を学び、その基礎知識を活用して各論の学習に進む準備のため、まずはイヌとネコの六大栄養素についての知識を、動物の生理学に立脚した栄養学を総論として学び、様々なペットフードやパンフレットに記載されている専門用語を理解し、飼い主に適切な栄養相談および指導を行う際の基礎知識を習得する。				
学習目標(到達目標)	栄養学総論に基づいて、注意すべき食材を知り、必要エネルギー量の指導ができ、イヌとネコに必要な栄養素の違いが説明でき、ライフステージ別の栄養指導ができることを目的として学習する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	(株)インターズー発行 ビジュアルで学ぶ動物看護学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	動物栄養学総論		テキスト、資料を使用		
2	基礎栄養学		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
3	基礎栄養素 水、タンパク質①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
4	基礎栄養素 タンパク質②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
5	基礎栄養素 炭水化物、脂肪		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
6	基礎栄養素 ミネラル、ビタミン		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
7	イヌとネコの栄養要求の違い①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
8	イヌとネコの栄養要求の違い② ライフステージ別の栄養管理①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
9	ライフステージ別の栄養管理②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
10	ライフステージ別の栄養管理③		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
11	ライフステージ別の栄養管理④		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
12	ライフステージ別の栄養管理⑤ ペットフードの表示の見方①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
13	ペットフードの表示の見方② BCS評価とカロリー計算の仕方①		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
14	BCS評価とカロリー計算の仕方②		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
15	ペットフードの種類		小テストの実施、テキスト、資料を使用		
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		解剖生理の復習、小テストを実施し、理解度を確認する。			
実務経験教員の経歴		ペットフードメーカーにて企画開発・営業等に携わった			

科目名		ドッグマネジメント			
担当教員	中野 貴行		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	健康管理や必要な道具、管理で注意すべきことなどを理解する。パワーポイントや資料配布で授業を進めていく。				
学習目標 (到達目標)	犬の管理に必要な知識を身に付け、それをアドバイスできるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	・授業概要 ・犬の世話に必要なものは？				
2	・GCTに関して 概要と来年受験への動機付け				
3	・日々の健康チェックに関して 健康チェック部位と病気				
4	・管理面でのチェックに関して				
5	・ケージに関して種類と組立				
6	・道具に関して① リード、カラーなど装着する道具紹介				
7	・道具に関して② コングやおもちゃ類紹介				
8	・散歩に関して① 散歩時に必要なものと注意点				
9	・散歩に関して② 散歩中人が近づいてきたら？犬連れの人近づいてきたら？ ケーススタディと対処				
10	・グループで犬を管理することとは？ 複数管理のメリット、デメリット				
11	犬種プレゼンテーション(調べる)				
12	犬種プレゼンテーション(調べる)				
13	犬種プレゼンテーション(発表)				
14	まとめ				
15	期末試験実施				
16	試験解説				
17	実際の犬の管理について		動物ふれあいセンターにて実習		
18	実際の小動物の管理について		動物ふれあいセンターにて実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
筆記試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		専門学校教員として12年勤務			

科目名		グルーミング実習			
担当教員	山田 佳枝	実務授業の有無	×		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	動物のプロとして必要な日頃のケアについて学ぶ。グルーミングの流れ、注意点について学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	グルーミングの流れを理解し、道具を正しく使い、グルーミングが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	グルーミングの目的、流れ、注意点について 道具の名称、使い方について				
2	グルーミングデモンストレーション	実際のグルーミングを見て、犬の扱い方を学ぶ			
3	グルーミング実習(実践)チワワ等				
4	グルーミング実習(実践)パグ等				
5	グルーミング実習(実践)ポメラニアン等				
6	グルーミング実習(実践)ブードル等				
7	グルーミング実習(実践)シュナウザー等				
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		専門学校教員歴 15年			

科目名		飼養管理士総論			
担当教員	山田 佳枝		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	動物が「命」あるものとし、「人と動物の共生」が必要となっている。そのための動物種の生態、管理や飼育方法について知識を身に付ける。また、動物に関連する法理についても学ぶ。 愛玩動物飼養管理2級の合格に向け、授業を行っていく。				
学習目標 (到達目標)	動物に関わる法律を理解し、動物種の生態・飼育方法をアドバイスできるようになる。 愛玩動物飼養管理士2級の取得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	愛玩動物飼養管理士2級教本				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	鳥類について 形態的特徴、飼養管理(インコ、オウム)		単元が終了した時点で必ず確認テストを実施		
2	鳥類について 飼養管理(フィンチ、ニワトリ、アヒル、ハト)				
3	鳥類について 繁殖、確認テスト				
4	からだの仕組み からだの成り立ち、栄養・酵素を取り入れる				
5	からだの仕組み 老廃物の排出、情報を取り入れる、情報伝達				
6	からだの仕組み 確認テスト				
7	愛玩動物飼養管理士の社会活動				
8	愛玩動物飼養管理士とは				
9	愛玩動物飼養管理士について 確認テスト				
10	動物愛護論Ⅰ 海外と日本について				
11	動物愛護論Ⅰ 動物愛護運動について				
12	動物愛護論Ⅰ 確認テスト				
13	人と動物の関係学①				
14	人と動物の関係学②				
15	人と動物の関係学 確認テスト				
16	期末テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		専門学校教員歴 15年			

科目名		コミュニケーション実践Ⅱ			
担当教員		実務授業の有無			
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	1年次に勉強したビジネスマナーを復習し、社会人になる準備を始める。				
学習目標 (到達目標)	社会人としてふさわしい立ち居振る舞いを身につける。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	内定先への暑中見舞い・年賀状の書き方	プリント			
2	社会人になってからのマナー(日常のマナー)	プリント			
3	社会人になってからのマナー(身だしなみ、敬語)	プリント			
4	社会人になってからのマナー(備品の名称、使い方)	プリント			
5	社会人になってからのマナー(メール、ビジネス文書)	プリント			
6	社会人になってからのマナー(接待)	プリント			
7	社会人になってからのマナー(慶弔業務)	プリント			
8	社会人になってからのマナー(退職)	プリント			
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		書類作成や個別面談をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。			
実務経験教員の経歴					

科目名		コンピュータ実習Ⅱ			
担当教員	古俣 秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	Excelの理解を深め、自信をもって活用できる基本技能を身につける				
学習目標 (到達目標)	Excel表計算処理技能認定試験 3級 取得				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Excel2016 クイックマスター 基本編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Excelの基本 Chapter2 データの編集		画面構成、用語の確認 範囲選択 文字の入力、数値の入力		
2	Chapter2 データの編集 ●問題集 練習問題1【問題2】(1)～(3)		日付の入力、オートフィル、数式、合計関数、相対参照・絶対参照、コピー・移動		
3	Chapter3 表の編集 ●問題集 練習問題2【問題2】(1)～(3)		セルの書式設定、表示形式		
4	Chapter7 関数		基本関数の意味と使い方(平均、最大、最少、データの個数、順位)		
5	Chapter8 データベース機能 ●問題集 練習問題1【問題2】(4)～(6)、【問題3】		並べ替え、フィルター		
6	●問題集 練習問題2【問題2】(4)～(6)、【問題3】 Chapter5 グラフと図形の作成 Chapter6 ブックの利用と管理		グラフ作成・編集、ワークシート名の変更、シートコピー		
7	Chapter4 ブックの印刷 ●問題集 練習問題1 完成		ページ設定、グラフ作成・編集の基本、スパークライン		
8	●練習問題2～3		解説誘導しながら 答案解答作成		
9	●練習問題4～5		各人のペースで解答 巡回してチェック・ポイント解説		
10	●練習問題6～7		"		
11	●練習問題8～9		"		
12	●練習問題10、模擬問題2		"		
13	●模擬問題3～4		"		
14	●模擬問題5～6		"		
15	●試験実施プログラム 模擬問題1		前問題振り返り 時間計測して実施、解答ファイル採点		
16	検定				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基本的な操作の仕方、表計算やデータを利用した簡単な資料作成の方法をしっかりマスターしましょう。授業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して練習をしましょう。			
実務経験教員の経歴		一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた			

科目名		心理学			
担当教員	倉田 純子		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	人間の行動を起こすための仕組みを理解する。				
学習目標 (到達目標)	人間の心の働きを学び、人間関係を良好に築けるように心構えができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	心理学の歩み①		プリント		
2	心理学の歩み②		プリント		
3	脳の仕組みと働き、学習と本能		プリント		
4	記憶の仕組み、感情と欲求		プリント		
5	発達心理学		プリント		
6	集団とのかかわり		プリント		
7	期末試験				
8	テスト返却、解答・解説				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			期末試験前にまとめプリントを配布するが、日々の授業プリントがないと解答できないように作成されているため、授業は全て出席するようにする。		
実務経験教員の経歴					

科目名		カウンセリング話法			
担当教員	倉田 純子		実務授業の有無	×	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	1,2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	人間の行動を起こすための仕組みを理解する。				
学習目標 (到達目標)	人間の心の働きを学び、人間関係を良好に築けるように心構えができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	なぜカウンセリングを学ぶのか、自己意識		プリント		
2	自己開示、自己呈示		プリント		
3	自分の話し方、聴き方①		プリント		
4	自分の話し方、聴き方②		プリント		
5	受容、共感、自己一致①		プリント		
6	受容、共感、自己一致②		プリント		
7	期末試験				
8	テスト返却、解答・解説				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			期末試験前にまとめプリントを配布するが、日々の授業プリントがないと解答できないように作成されているため、授業は全て出席するようにする。		
実務経験教員の経歴					

科目名		ペットビジネス概論			
担当教員	山崎 恵子	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	ペット業界を取り囲む社会の現状を知り、どのようなサービスがあるか、どのようなサービスが求められているかを学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ペット関連サービスについて理解することができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ペット業界を取り囲む社会の現状1				
2	ペット業界を取り囲む社会の現状2				
3	ペット医療の今後1				
4	ペット医療の今後2				
5	ペットショップの今後				
6	ペットの預かり業-デイケア				
7	ペットの預かり業-ホテル				
8	ペットシッターとは				
9	ペット可のレジャー施設-遊園地				
10	ペット可のレジャー施設-ホテル、ペンション等				
11	出張サービスの在り方				
12	ホスピス、老犬ホーム等				
13	各種動物カフェ				
14	触れ合い施設				
15	ペットグッズ1				
16	ペットグッズ2				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		動物業界の最新情報を知るチャンスなので、毎回出席すること。			
実務経験教員の経歴		動物業界団体で活動			

科目名		動物行動学			
担当教員	中野 貴行	実務授業の有無	×		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	8
授業概要、目的、授業の進め方	犬や猫の行動様式の特徴を様々な視点から学び、犬や猫の本質などを理解させる。テキストとパワーポイントを使用しながら授業を進めていく。				
学習目標(到達目標)	人と動物の調和に関わることを学び、それを元に犬や猫の行動についてアドバイスできるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	犬と猫の行動学～基礎から臨床へ～				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	動物行動学の概論、歴史、犬と猫の歴史と家畜化について				
2	行動の発達について(新生子期～高齢期)				
3	犬と猫のコミュニケーションについて				
4	犬と猫の社会行動について(性行動も含む)				
5	維持行動について				
6	学習理論について				
7	期末試験実施				
8	期末試験解説				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
試験100% 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		専門学校教員として13年勤務			

科目名		ビジネス経営応用			
担当教員	江口 亜由美	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	ホリスティックケア・カウンセラーについてテキストを併用しながら、ホリスティックについて学ぶ。小テスト4回を各回の区切りで実施し、最終試験を実施する。				
学習目標(到達目標)	ホリスティックケア・カウンセラーの合格できる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホリスティックケア・カウンセラー養成講座vol.1、vol.2、DVD、プリント配布				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ホリスティック序章1回目(ホリケアとは何か?意味や目的を学ぶ)				
2	ホリスティック序章2回目(ホリケアとは何か?意味や目的を学ぶ)				
3	ホリスティックケアと食事				
4	ペットフード3章				
5	振り返りと 小テスト1回目				
6	サプリメント				
7	ハーブ				
8	手作食(P77まで、P86～P90)				
9	手作食 実技(テキスト掲載レシピ)と自分でレシピを考える。				
10	手作食 実技(自分で作ったレシピをつくってみる)				
11	小テスト2回目				
12	アロマセラピー				
13	マッサージ(基本説明してDVD復讐)				
14	マッサージ 症状別やってみよう(犬在り)				
15	マッサージ 症状別やってみよう(犬在り)				
16	カウンセリング(理論とロープレ)				
17	カウンセリング ペットフードのカウンセリング(ご飯を買いに来た人)				
18	カウンセリング サービス受付カウンセリング				
19	パッチレメディ				
20	ディスカッション				
21	振り返りと小テスト3回目				
22	振り返りと小テスト4回目				
23	対策講座				
24	最終認定試験				
25	PDCAを知る。どんな時に必要かを学ぶ。				
26	SWOT分析(お店の強み弱みを知る)				
27	経営理念とはを学ぶ・次回までに調べてみよう				
28	経営理念と使命とは(調べてきた事を発表する)				
29	社会人になるための自分ビジョン制作				
30	ビジョン発表				
31	ビジョン発表				
32	まとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
前期は小テスト、最終試験100%での評価 成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		株式会社ミリオンペット代表			

動物飼育実習 II					
科目名	動物飼育実習 II				
担当教員	佐藤 緑	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	144
授業概要、目的、授業の進め方	1. 動物種ごとの適切な食事や環境を提供できるようになる 2. 犬の飼育に必要な接し方・ハンドリング・ケア方法を実践できるようになる 3. 猫・小動物の飼育に必要な接し方・ケアの方法を実践できるようになる 4. ふれあいセンターでの実習を通して、犬動物と小動物の飼育方法を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	正常な動物を知り、動物種ごとに適した飼育管理を実践できるようになる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
2	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
3	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
4	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
5	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
6	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
7	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
8	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
9	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
10	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
11	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
12	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
13	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
14	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
15	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
16	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
17	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
18	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
19	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
20	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
21	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
22	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
23	期末試験	筆記と実技の試験			
24	ウサギの飼育管理の実習・フィードバック	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
25	大動物の飼育管理	動物ふれあいセンターでの実習			
26	小動物の飼育管理	動物ふれあいセンターでの実習			
27	大動物の飼育管理	動物ふれあいセンターでの実習			
28	小動物の飼育管理	動物ふれあいセンターでの実習			
29	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
30	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
31	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
32	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
33	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
34	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
35	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
36	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
37	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
38	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
39	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
40	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
41	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
42	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
43	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
44	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
45	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
46	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
47	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
48	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
49	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
50	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
51	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
52	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
53	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
54	モルモットの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
55	ハムスターの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
56	犬の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
57	猫の飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
58	ウサギの飼育管理の実習	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
59	期末試験	筆記と実技の試験			
60	モルモットの飼育管理の実習・フィードバック	実習(学校飼育動物を実際にお世話する)			
61	大動物の飼育管理	動物ふれあいセンターでの実習			
62	小動物の飼育管理	動物ふれあいセンターでの実習			
63	大動物の飼育管理	動物ふれあいセンターでの実習			
64	小動物の飼育管理	動物ふれあいセンターでの実習			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(55点以下)とする。		1年生で学んだことを使用し理解を深めるだけでなく、散歩など動物を飼育するために必要なハンドリングやブラッシング技術の習得も目指す。			
実務経験教員の経歴		動物看護士として6年間、動物病院に勤務していた。			

科目名		エキゾチックアニマルⅡ			
担当教員	広川美紀	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	ペットショップで販売されているエキゾチックアニマルについて学ぶ。 飼い主に飼育方法をアドバイスできるようになる。				
学習目標 (到達目標)	各生体の品種、習性、繁殖、病気について理解し、アドバイスが出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	エキゾチックアニマルとは 環境エンリッチメント ハムスター6種の分類				
2	ハムスター品種・特長 ジャンガリアン、キャンベル見分け 異常繁殖の問題点 ハムスターの生態				
3	ハムスター 習性、繁殖、飼育方法				
4	ハムスター 臨床、疾病				
5	ウサギ 品種、特徴 ドワーフ遺伝子の問題点 ウサギ生態				
6	ウサギ 習性、繁殖、飼育方法				
7	ウサギ 臨床、疾病				
8	モルモット 品種・特長、生態・習性				
9	モルモット 繁殖、飼育方法				
10	モルモット 臨床、疾病				
11	フェレット 生態・習性 ファーム繁殖の現状				
12	フェレット 繁殖、飼育方法				
13	フェレット 臨床、疾病				
14	テスト+(解説)				
15	(解説)				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	動物病院にて動物看護師兼トリマー10年、独立サロン経営18年				

科目名 ネットビジネス演習			
担当教員	玉川 慎一	実務授業の有無	○
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2 開講時期 通年
必修・選択	必修	単位数	2 時間数 64
授業概要、目的、授業の進め方	インターネット通販の仕組みや販売について理解し、実際のインターネット通販にて動物関係商品の出品し、販売を経験する。		
学習目標 (到達目標)	1.インターネット通販の仕組みと特徴が理解できる。 2.販売について売るための工夫などを考察することができる。		
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント配布		
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考	
1	「マーケティング概論」マーケティングに関する知識を指導する。SWOT分析やPPSWなどの基本的な知識を伝える。		
2	「ネットビジネスの仕組みと特徴」ネットビジネスの現状と未来、仕組みを含めた形態と特徴を指導する。モノー型、自由結型などの違いを理解してもらう。		
3	「準備」ネットショップの操作に必要な個人アカウントの作成、予備知識の取得などを行う。		
4	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
5	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
6	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
7	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
8	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
9	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
10	「サイトを分析する」サイトに集まるユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導くようにする。		
11	「サイトを分析する」サイトに集まるユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導くようにする。		
12	「サイトを分析する」サイトに集まるユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導くようにする。		
13	「お客さまを集める」サイトへお客さまを呼び込みにできることを考え、実践させる。SNSやインターネット広告と合った手法について指導をおこなう。		
14	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
15	課題		
16	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
17	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
18	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
19	「商品を販売する」開校し、商品を実際のネットショップで販売する。ネットショップへの商品登録など技術的な内容が多くなる。下記の項目を繰り返ししながら、売ることの楽しさを知ってもらう。		
20	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
21	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
22	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
23	「サイトを分析する」サイトに集まるユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導くようにする。		
24	「サイトを分析する」サイトに集まるユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導くようにする。		
25	「サイトを分析する」サイトに集まるユーザーの動向や志向を分析し、仮説を立てて改善の施策を導くようにする。		
26	「お客さまを集める」サイトへお客さまを呼び込みにできることを考え、実践させる。SNSやインターネット広告と合った手法について指導をおこなう。		
27	「お客さまを集める」サイトへお客さまを呼び込みにできることを考え、実践させる。SNSやインターネット広告と合った手法について指導をおこなう。		
28	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
29	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
30	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
31	「商品を開発する」これまでの知識を踏まえ、ペット用品という前提のもと、売りたい商品を開発する(見つける)。仕入価格、販売価格までを仕入れ先、オーナーと相談して進めることを教える。		
32	課題		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意	
実習課題100%の評議成績評価基準は、S(85点以上)-A(80点以上)-B(70点以上)-C(60点以上)-D(50点以下)とする。			
実務経験教員の経歴		株式会社LEANSO代表取締役	

科目名	グルーミング実践				
担当教員	広川美紀		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	グルーミングの技術習得、日頃のケアを飼い主にアドバイスできる。 2人でグルーミングの行う際の準備や効率の良さを考えグルーミングを行う。				
学習目標 (到達目標)	2人で小型犬のシャンプーが30分以内で終了し、全ての作業を90分以内で終了出来るようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	座学 実習の流れ+犬の攻撃性と対処法				
2	グルーミング実習/チワワ、パグ				
3	グルーミング実習/ダックス、シュナウザー				
4	グルーミング実習/マルチーズ、ヨークシャー・テリア				
5	グルーミング実習/ペキニーズ、柴犬				
6	グルーミング実習/シーズー、トイ・プードル				
7	グルーミング実習/チワワ、パグ				
8	期末試験				
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		動物病院にて看護師兼トリマー10年、独立サロン経営18年			

動物看護実践Ⅱ					
科目名	動物看護実践Ⅱ				
	岡崎 康隆	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	動物病院での業務として、診療補助、一般的な検査業務、受付業務を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	動物病院で行う、診察・検査・処置の意味や目的を理解し、補助・準備ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	動物看護実習テキスト(インターズー)				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	犬の保定と一般身体検査、健康チェック	実習(学校飼育犬の健康チェック)			
2	猫の保定と一般身体検査、健康チェック	実習(学校飼育猫の健康チェック)			
3	エキゾチックアニマルの保定と投薬	実習(ウサギ、ハムスター、モルモットの保定)			
4	採血準備と採血時の保定	実習(採血準備)			
5	静脈点滴、輸液ポンプの操作	実習(ぬいぐるみを用いて留置の設置、輸液ポンプ)			
6	幼齢動物の看護	パワーポイント資料、実習(新生児蘇生)			
7	高齢動物の看護	パワーポイント資料、実習(温電法とリハビリ)			
8	特別療法食と給餌方法	実習(療法食、強制給餌、チューブフィーディング)			
9	調剤業務	実習(分包機の使い方、薬剤の分割と粉末化)			
10	手術助手としての動き方	実習(手洗い、術衣の着方、手袋の付け方)			
11	麻酔モニターの見方、手術で使用する器具	実習(麻酔モニターの操作、手術器具)			
12	救急時の対応	実習(気管挿管の準備、心臓マッサージ)			
13	動物病院での接遇	パワーポイント資料			
14	模擬診察	実習(受付から会計まで)			
15	筆記試験				
16	フィードバック				
17	血液検査①:概要と手技の説明	パワーポイント資料			
18	血液検査②: CBC検査	実習(血液塗抹作成、染色、観察)			
19	血液検査③:生化学検査	パワーポイント資料			
20	尿検査①:採尿方法と検査手技の説明	パワーポイント資料			
21	尿検査②:尿検査	実習(尿検査)			
22	糞便検査①:採便方法と検査手技の説明	パワーポイント資料			
23	糞便検査②:糞便検査	実習(糞便検査)			
24	X線検査と心電図検査①:概要と検査手技および機器の操作	パワーポイント資料			
25	X線検査と心電図検査②:検査手技の実践	実習(それぞれの検査に必要な保定)			
26	皮膚検査と外耳道検査①:概要と検査手技の説明	パワーポイント資料			
27	皮膚検査と外耳道検査②:検査手技の実践	実習(皮膚検査、耳垢検査)			
28	眼科検査	パワーポイント資料			
29	神経学的検査	実習(保定と手技の確認)			
30	実技試験				
31	筆記試験				
32	フィードバック	1年の総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		1年次に動物看護実践Ⅰを履修し、基本的な動物病院業務について学んでいる必要がある。			
実務経験教員の経歴	動物病院にて8年間の実務経験あり				

科目名		異文化研究(海外研修)			
担当教員				実務授業の有無	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	30時間
授業概要、目的、授業の進め方	異国の文化(言語、気候、風習、歴史など)を研究することで日本との違いなどを考察する。 また、実際に海外に行き異国の文化に触れることで理解を目指す。				
学習目標(到達目標)	異国の文化について理解を深めることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	無し				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	飛行機にて移動	パスポートの申請、飛行機の搭乗を経験する			
2	現地到着、研修1日目	現地での食事、お金の支払いなどを体験する			
3	研修2日目	現地での簡単な会話を行いながら文化に触れる			
4	研修3日目	現地で様々な体験を通して文化に触れる			
5	研修4日目、日本へ帰国				
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名		水槽管理			
担当教員	佐藤 真司		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	128
授業概要、目的、授業の進め方	ペットショップで取り扱われている観賞魚について学ぶ。観賞魚の飼育管理、器具の取り扱い方、バックキンの方法を水槽管理を行いながら学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	観賞魚の飼育方法、器具の取り扱いを説明できる。 観賞魚を販売する際のバックキンの作業ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	観賞魚について、水槽についての説明		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
2	水槽、フィルター、照明、水槽台セット		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
3	流木、水草のセット		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
4	水槽管理、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
5	水槽管理(換水方法説明)、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
6	水槽管理(ガラス面の擦り方説明)、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
7	水槽管理(スターティングフィッシュ導入)、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
8	水槽管理、水質測定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
9	水槽管理、水質測定、飼育魚の選定		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
10	水槽管理、水質測定、飼育魚の導入		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
11	水槽管理、水質についての講義		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
12	水槽管理、水槽器具、水槽用品についての講義		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
13	水槽管理、餌についての講義		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
14	水槽管理、魚病についての講義		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
15	水槽管理(フィルターのメンテナンス)		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
16	水槽管理、バックキンの練習①		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
17	水槽管理、バックキンの練習②		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
18	水槽管理、観賞魚販売時の注意点についての講義①		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
19	水槽管理、観賞魚販売時の注意点についての講義②		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
20	水槽管理、魚の扱い方について(ネットの扱い方)		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
21	水槽管理、魚の扱い方について(魚の数え方)		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
22	水槽管理、アクアリウムショップの水槽システムについて		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
23	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類①		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
24	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類②		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
25	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類③		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
26	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類④		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
27	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類⑤		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
28	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類⑥		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
29	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類⑦		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
30	水槽管理、アクアリウムショップで取り扱う観賞魚の種類⑧		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
31	バックキンの復習		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
32	観賞魚販売時の実技テスト		水槽管理の実習、内容に応じた講義		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		観賞魚販売店で4年間勤務していた			

科目名		猫概論			
担当教員	岡崎 康隆		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	「猫」について、猫種と特徴、行動、健康管理、生活、トレーニングを学ぶ。 また、猫に関する環境やそれに関する商品の知識を身に付け、プレゼンを行う。				
学習目標 (到達目標)	猫に関する幅広い知識を身につけ、猫との生活において必要な健康管理、環境(食、住)についてアドバイスができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①猫を極める本(インターズー)、②猫とのくらしが変わる遊びのレシピ(誠文堂新光社)、③まるごとわかる猫種大図鑑(学研)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	猫を取り巻く現状		パワーポイント資料		
2	猫と人との関わりの歴史		パワーポイント資料		
3	猫の種類と特徴①		パワーポイント資料、猫種図鑑		
4	猫の種類と特徴②		パワーポイント資料、猫種図鑑		
5	猫の種類と特徴③		パワーポイント資料、猫種図鑑		
6	猫の種類と特徴 小テスト		自身で猫を3種類選択し紹介スライドを作成、発表する		
7	猫のコミュニケーション①:猫同士のコミュニケーション方法		パワーポイント資料		
8	猫のコミュニケーション②:猫のボディランゲージ		実習(実際に猫を観察し、ボディランゲージの確認)		
9	猫のコミュニケーション③:猫と遊ぶ		実習(狩猟本能を満たす猫との遊び方を実践する)		
10	猫の完全室内飼育のメリットとデメリット		パワーポイント資料、グループディスカッション		
11	猫との生活で問題となる行動		パワーポイント資料		
12	猫との生活環境①:一般的な飼育環境とより良くするための工夫		パワーポイント資料、グループディスカッション		
13	猫との生活環境②:環境改善の提案		グループ作業(理想の生活空間を考える)		
14	猫との生活環境③:猫にやさしい空間づくり		グループ作業(②で出した意見をもとに模型を作成する)		
15	筆記試験				
16	フィードバック		夏期休暇の課題として猫のおもちゃを考え自作する		
17	猫に関係する商品①(おもちゃ、ケージ、キャットタワーなど)		実物を用意し、用途や特徴を確認する		
18	猫に関係する商品②(被り物、洋服、ケア用品など)		実物を用意し、用途や特徴を確認する		
19	猫の健康管理①:猫の健康チェック		パワーポイント資料、実習(健康チェック)		
20	猫の健康管理②:食事と飲水		パワーポイント資料、グループディスカッション		
21	猫の健康管理③:トイレに関する問題		パワーポイント資料		
22	猫の健康管理④:腎臓病について		パワーポイント資料		
23	猫の健康管理⑤:病気の予防(ワクチン接種、外部寄生虫)		パワーポイント資料		
24	猫のトレーニング①:猫に必要なトレーニングとは、行動の原理		パワーポイント資料		
25	猫のトレーニング②:クリックートレーニング		実習(クリックートレーニング)		
26	猫のトレーニング③:ターゲットによる誘導		実習(指についてくるように教える)		
27	猫のトレーニング④:健康管理のトレーニング(ハズバンダリートレーニング)		実習(爪切りや、開口といった健康管理に繋がる行動を教える)		
29	子猫の管理		パワーポイント資料		
30	高齢猫の管理		パワーポイント資料		
31	筆記試験				
32	フィードバック		1年の総まとめ		
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		猫に特化してさらに深く学ぶにあたって、1年次で学ぶ解剖学や生理学、基本的な飼育管理の知識を習得していることが前提である			
実務経験教員の経歴	動物病院にて8年間の実務経験あり				

科目名		ドッグトレーニング実習			
担当教員	佐藤大輝	実務授業の有無	○		
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数	2	時間数	64時間
授業概要、目的、授業の進め方	○犬の接点から観察、基礎ハンドリングまで行い就職後お客様や患者様の愛犬を扱う際に備える ○飼い主様が犬と豊かに過ごせるための必要になる道具を使い方含めて経験し必要性を伝える技術を磨く				
学習目標 (到達目標)	就職時に役立つ犬の基礎ハンドリングと接客含めたコミュニケーション培う事が出来る。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	愛玩飼養管理士2級教本、セルフコーチング、犬のしつけきちんとブック				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
2	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
3	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
4	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
5	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
6	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
7	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
8	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
9	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
10	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
11	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
12	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
13	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
14	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
15	実技テストとプレゼンテスト	実行したしつけの確認と道具を使用したプレゼンを撮影			
16	テストのフォローバック	テストの内容の補足、解説			
17	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
18	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
19	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
20	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
21	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
22	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
23	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
24	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
25	犬の観察と道具確認	実際の犬と道具を観察、確認			
26	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
27	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
28	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
29	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
30	犬の実践基礎トレーニングとプレゼン練習	実際の犬のしつけと道具を使用したプレゼン			
31	実技テストとプレゼンテスト	実行したしつけの確認と道具を使用したプレゼンを撮影			
32	テストのフォローバック	テストの内容の補足、解説			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		犬が参加するので人、犬に対してケガが無いような接点を実行する。道具や物資を使用しているので破損に気を付ける。			
実務経験教員の経歴		ドッグトレーナーとして10年活動			

科目名		昆虫・爬虫類飼育概論			
担当教員				実務授業の有無	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	昆虫や爬虫類の生体を理解し、飼育方法や管理において気を付けるべきことを学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	主な昆虫、爬虫類についての特徴、飼育方法、病気などを理解することができる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	カラーアトラス エキゾチックアニマル爬虫類・両生類(緑書房)				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	昆虫の飼育器具について				
2	昆虫の飼育方法について				
3	各分類				
4	動物種の特徴				
5	昆虫の代表的な病気について				
6	カメについて				
7	トカゲについて				
8	ヘビについて				
9	両生類(カエル)について				
10	両生類(サンショウウオ)について				
11	代表的な種類について				
12	爬虫類の飼育器具について				
13	爬虫類の飼育方法について				
14	爬虫類の代表的な病気について				
15	昆虫についてまとめ				
16	爬虫類についてまとめ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					

科目名	英語・英会話				
担当教員	ジェイムズ英会話		実務授業の有無	○	
対象学科	ペットケア・ビジネス学科	対象学年	2	開講時期	半期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	英語をコミュニケーション・ツールの一つとして認識し、それを使って楽しむことができる				
学習目標 (到達目標)	基礎的な英語・英会話を理解することができる 基礎的な英語・英会話で相手に意思を伝えることができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	英会話スクール資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	英語の概念の理解、英語に対する理解度確認		英会話スクール資料		
2	簡単な英会話、発音練習		英会話スクール資料		
3	簡単な英会話、発音練習		英会話スクール資料		
4	音楽や映像を使ったリスニング練習		英会話スクール資料		
5	音楽や映像を使ったリスニング練習		英会話スクール資料		
6	1分間英語プレゼン		英会話スクール資料		
7	1分間英語プレゼン		英会話スクール資料		
8	1分間英語プレゼン		英会話スクール資料		
9	英語クイズ		英会話スクール資料		
10	英語クイズ		英会話スクール資料		
11	英文法構成の説明		英会話スクール資料		
12	英文法構成の説明		英会話スクール資料		
13	プレゼンテーション		英会話スクール資料		
14	プレゼンテーション		英会話スクール資料		
15	筆記試験				
16	フィードバック		1年の総まとめ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			分からない単語などは自身で辞書を引いて調べることで身につけやすい。		
実務経験教員の経歴		英会話スクールへ委託			

科目名	SNS活用				
担当教員				実務授業の有無	
対象学科	ネイチャーアクアリウム	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	12
授業概要、目的、授業の進め方	SNSを利用した効果的な情報発信、セルフブランディングについて学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	SNSを活用した情報発信ができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	セルフブランディングとは。		議論、発表		
2	自分の強みと弱みの書き出し。		議論、発表		
3	各SNSの自分が思うイメージ書き出し		議論、発表		
4	テーマに合わせた記事作成、写真撮影		議論、発表		
5	自分のなりたい自分像の書き出し		議論、発表		
6	人気のアカウントをピックアップ		議論、発表		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					